

# 大名の服飾

平成24年 1月4日(水)～2月12日(日)

大名は官位や家格、季節や場所、立場などに応じて、多種多様な服飾を必要としました。尾張徳川家に伝えられた、大名が公私の生活の中で用いたさまざまな衣服を紹介します。

No.	名 称	時代	世紀(年号)	所蔵
<b>大名の礼服 - 装束 -</b>				
1	垂纓繁文透額冠	徳川義宜(尾張家16代)着用	江戸-明治	19
2	緑地霞に若松文帖紙	同 上 所用	江戸-明治	19
3	檜扇	同 上 所用	江戸-明治	19
4	花の丸蒔絵冠台		江戸	19
5	紫地唐花菱文綾狩衣	徳川慶勝(尾張家14代)着用	江戸	19
6	浅黄地八藤文指袴	同 上 所用	明治	明治2年<1869>
7	黒地透精好直垂	同 上 着用	明治	明治元年<1868>
8	立烏帽子	同 上 着用	江戸-明治	19
9	柳台(烏帽子台)	徳川義宜(尾張家16代)所用	江戸-明治	19
10	蠟色塗小サ刀拵	徳川慶勝(尾張家14代)所持	江戸	19
11	中啓	徳川義宜(尾張家16代)所用 三握の内	江戸	慶応2年<1866>
12	武家装束着用図		江戸	18-19
<b>大名の公務服 - 熨斗目・袴 -</b>				
13	紺地葵紋付熨斗目	徳川慶勝(尾張家14代)着用	江戸	19
14	浅葱地葵紋付菱形小紋袴	同 上 着用	江戸	19
15	青貝微塵塗刀拵	徳川安千代(尾張家14代慶勝6男)所持	江戸	19
16	青貝微塵塗脇指拵	同 上 所持	江戸	19
17	献上のしめ紋帳		江戸	宝暦9年<1759>
<b>大名の普段着</b>				
18	萌黄綸子地葵紋付蔓葵文散小袖	徳川光友(尾張家2代)着用	江戸	17
19	葵紋付斜取染分小袖	同 上 着用	江戸	17
20	紺地花唐草文羽織	同 上 着用	江戸	17
21	白羊毛皮付羽織		江戸	18
22	乱星文熏革足袋	徳川宗春(尾張家7代)所用	江戸	18
23	富士・二見浦蒔絵印籠 銘 寿秀		江戸	18-19
24	富士山に龍図蒔絵印籠		江戸	19
25	十二支蒔絵印籠 銘 梶川作		江戸	19
<b>松坂屋コレクション - 寄贈品より -</b>				
26	黄地紋漢東織陣羽織	大丸松坂屋寄贈	江戸	18-19
27	紅地立木瓜紋付花菱に紋散し錦陣羽織	同 上 寄贈	江戸	18-19
28	浅葱地菊唐草文緞子直綴	同 上 寄贈	江戸	18

すべて徳川美術館所蔵です。  
出陳リストの番号は展示順を表していません。

## 源氏物語の世界

平成24年 1月4日(水)～2月12日(日)

No.	名 称	時代	世紀(年号)	所蔵
<b>『源氏物語』の写本と注釈書</b>				
1	源氏物語(青表紙本) 成瀬正親(犬山成瀬家3代)夫人所用	江戸	18	
				五十四冊の内
2	湖月抄 北村季吟著	江戸	延宝元年<1673>	
				六十冊の内
<b>王朝物語の伝統と『源氏物語』</b>				
3	風葉和歌集	四帖 江戸	17	
4	伊勢物語(定家本) 伝九条忠栄筆	室町	15	
5	宇津保物語 瑩珠院新君(尾張家3代綱誠夫人)所用	江戸	17	
				二十冊の内
6	落窪物語	四冊の内 江戸	17	
7	狭衣物語	十六冊の内 江戸	承応3年<1654>	
8	狭衣物語絵巻(模本) 外題 松平定信(白河松平家3代)筆	江戸	18-19	
9	源氏物語絵巻(模本) 田中親美模写	三巻の内 昭和	昭和10年<1935>	
<b>『源氏物語』と浮世絵</b>				
10	源氏御祝言 歌川国貞(3代豊国)筆	江戸	文久元年<1861>	
11	源氏雪見ノ図 歌川国貞(3代豊国)筆	江戸	安永6年<1859>	

## よろいを写す

-源平武将の装い-

平成24年 1月4日(水)～2月12日(日)

No.	名 称	時代	世紀(年号)	所蔵
1	兵械考証 松平勝當(高須松平家7代)著	四冊の内 江戸	19	
2	日本武尊御鎧図・秩父重忠奉納鎧図・古作腹巻図	江戸	明和6年<1769>	
3	春日社所蔵 源頼朝卿甲冑図	江戸	18	
4	芸州巖島神宝古鎧図	江戸	18	
5	平重盛公御鎧	八枚の内 江戸	寛政3年<1791>	
6	秩父重忠鎧之図	十二枚の内 江戸	18	
7	興福寺所蔵 義経鎧雛形	十枚の内 江戸	18	
8	春日社所蔵 頼朝鎧雛形	十八枚の内 江戸	安永8年<1779>	

星印 は徳川美術館所蔵、その他は名古屋市蓬左文庫所蔵です。  
出陳リストの番号は展示順を表していません。